

事業所職員向け

令和4年度放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の対応等について
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	元気に動き回っても遊べる活動空間を確保している	安全に安心して過ごせる活動空間が提供できるように、引き続き環境設定等の見直しや整備を行なっていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	基準に沿った職員を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%	0%	段差がなく、点字ブロックやスロープ、手すりなど設置をしている	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	60%	20%	20%	個人としては疎かになっていた。PDCAサイクルを意識して取り組むことが足りなかった部分があった	業務の改善を進める目的とした会議を定期的に開催しているが、職員全体からの意見徴収をする機会が十分に持ていなかったため、会議や日常のコミュニケーションを通じた意見交換を進め実行と振り返りを行なっていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%	0%	毎年アンケートを実施している。保護者様からの意見も参考に改善を行なっています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%	0%	ホームページ等に掲載をしています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%	0%	実習や外部からの研修を受入れ、支援に対する感想等を頂いている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%	0%	再度自主勉強会の時間を取り、知識向上を図りたい定期的に法人内研修を実施している	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	保護者や関係機関等の様子も把握し計画作成を行なっている	活動プログラムについては、日々のミーティングで振り返りや改善点を出し合いながら、計画・実行をしている。子どもたちに様々な経験を積む機会を作り、成功体験等を重ねていけるよう今後も活動内容の振り返りを丁寧に行なっていく。 検査結果を参考にしたり、ライフサポートブックに情報を記載しているが、標準化されたアセスメントツールの使用も進めていく。 計画作成の上で、課題の優先順位等もしっかりと見直しをしながら、個別及び集団活動での目的も明確に持てるよう計画の記載方法についても見直しを行なっていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%	0%	放デイでは導入できていない検査結果等を参考にしているが、アセスメントの仕方については、見直しをしていく必要がある	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	終礼やミーティングの時間に活動内容の打ち合わせや見直しを行なっている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%	0%	子どもたちに意見を出してもらい活動内容の話合いをしたり、提案を行いながら様々な遊び等に触れる機会を作っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20%	0%	長期休暇等は平日ではできない外出活動や社会体験活動等を取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%	0%	全て計画に反映できていない部分もある。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	朝の時間に必ず打ち合わせをしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	20%	0%	支援の振り返りは必ずしている。共有漏れがある時がある	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	毎回記録に残している ICTを導入したことで、情報が引き出しやすくなった	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	相談員とも連携しながら定期的にモニタリングを行なっている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	0%	0%	季節や子どもの姿に合わせて活動内容を設定している。ガイドライン等も参考にしている	
	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%	0%	情報資料の作成には参画する事ができるが、児発管以外の職員が会議に参加できない事が多い	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	80%	20%	0%	年間計画等の情報交換が全ての学校とできていない 日頃から送迎時間の確認等の連絡を取り合っている	来年度は人的な余裕を確保しつつ、児発管以外の現場職員も会議に参加する機会を確保し、より詳しい状況を会議でお伝えしていけるよう努めていく。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	0%	0%	対象となる児童がいなかったため評価できず	学校の年間行事の把握等は学校と連絡を取り合いながら情報交換を進め、状況に合わせた子どもたちへの対応をきめ細やかに提供していけるように努めていく。 就学前の保育所等に情報提供を求める必要のあるケースはなかったが、今後も地域の保育所や児童クラブ、学校等との連携を深めていきたい。 研修後の伝達研修を実施する機会を作ることができていなかった。受講後は必ず伝達研修を行う仕組みを整え、全体への情報発信を行なっていけるようにする。 自立支援協議会に参加しているが、話し合いの内容については職員への周知が十分にできていなかったの、ミーティング等の時間帯に周知を行なっていく。 保護者支援の観点からピアカウンセリンググループのような集いを作り、保護者同士の繋がりや学び合いの機会を作っていけるよう体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%	0%	以前利用していたこども園等と情報交換をする機会が多くなかった。児童発達支援とは情報交換ができています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	60%	40%	0%	移行に関する会議等に出席し、情報提供を行っているが紙面で情報をまとめたものを渡すことまでは今年度はできていなかった	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	40%	0%	全体でその機会が確保できていない。伝達研修が行っていない。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%	40%	40%	併行利用をしている児童が多いため、活動として設定をしていない。児童クラブの先生と情報交換をする機会は増えた	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	40%	20%	40%	自立支援協議会に参加している。内容について職員への周知が十分ではなかった。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	送迎の時や連絡ノート等で情報交換を行なっている。保護者の相談に対する返答はしっかりと行なっていきたい	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	40%	20%	コロナ等もあって実施ができていない	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%	0%	その場で返答できる時には返答し、難しい時には上司に相談をして返答を返すようにしている。	
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40%	40%	20%	昨年度よりは保護者会を開催する機会が持てた。コロナで開催回数は十分にできていなかった	
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	担当者がすぐに対応できるようにしている。職員間で周知するようにしている	
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	定期的にお便りを発行している。コドモン等も使って情報発信を行なっている	
35		個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	重要な書類は鍵のかかる棚に保管をしている	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	コドモン等のICTツールを使うことで相互の情報伝達がスムーズになった	
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	60%	20%	交流機会を持てるような行事を開催することができなかった。保護者が参加することのできる行事は昨年度に比べると徐々に増えていった。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%	0%	職員は各種マニュアルを綴じたファイルを持しいつでも確認できるようにしている	避難訓練等は引き続き毎月開催をしていく。虐待防止の観点からも職員の専門性の向上は必要不可欠ではあるので、日々の振り返り等を通じて支援の見直しや、研修を通じた専門性の向上に励み、より良い支援が提供していけるよう自己研鑽に励んでいきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	毎月避難訓練を実施している。多くの児童が経験できるよう実施日等は工夫をしている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	法人として研修機会を確保している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	必要に応じて保護者様に説明し同意を得ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	アレルギーについては保護者様に確認し、指示書をお預かりしている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	小さな怪我なども全て記録に残し、職員間で周知するようにしている	